

## 第1回 学校関係者評価委員会 議事録

### 1. 日時

2022年4月28日(木) 18:00~19:20

### 2. 場所

三条看護・医療・歯科衛生専門学校 会議室

### 3. 出席者

学外委員

池 穂波委員(新潟県済生会三条病院 看護部長)

坂田和浩委員(三条市立大学 理事・事務局長)

羽生好太委員(三条歯科医師会 会長)

学内委員

白倉政典(三条看護・医療・歯科衛生専門学校 副校長)

浅川淳子(三条看護・医療・歯科衛生専門学校 看護学科副校長)

椛澤敬一(三条看護・医療・歯科衛生専門学校 事務局長)

加藤佐知子(三条看護・医療・歯科衛生専門学校 教務部長補佐)

### 4. 内容

#### 1)学校概要(白倉)

#### 2)2021年度 活動報告

##### (1) 国試・主要認定検定試験結果(加藤)

- ・国家試験はまだ実績なし
- ・医療事務学科の主要な受験検定試験については概ね高い合格率を達成

##### (2) 2022年度学生募集(椛澤)

- ・入学定員115名に対し、96名。
- ・看護学科は定員充足。歯科衛生士学科、医療事務学科は定員に届かず。
- ・看護学科はたくさんの養成校があり、併願者が多い。辞退者の読みも難しい。  
結果3名の定員超過となった。

##### (3) 退学(白倉)

- ・実績10名であった。
- ・理由は、家庭の事情、本人の体調、実習が始まってからの自分の適性についての悩み、  
単位未取得、友人関係など様々である。

#### (4) 就職

- ・医療事務学科卒業生全員が専門職として内定。全員が県央地区の専門職（医療事務）に就職内定。学校の設置目的・目標に適う成果であった。

#### (5) 学生、保護者アンケートについて

- ・保護者への情報共有がまだ不十分ということが両者のアンケートから感じる。
- ・学校と保護者とのコミュニケーションを深めるため、学校新聞の発行などを試みた。
- ・保護者会を各学科で予定している。

### 5. 学校関係者評価

配布された別紙、「学校自己報告書2021」の要点説明が行われ、学校関係者評価委員会各委員から意見と評価を得た。

#### 1, 教育理念・目標 自己採点評価 3.8

要点説明)

- ・教育理念、教育指針、各学科の3つのポリシー（アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、デュプロマポリシー）は定めている。在校生、入学希望者へは学生便覧、募集要項等を通じて周知している。一方、保護者、業界関係者への情報発信を今後更に進めていく。

学校関係者評価)

- ・学校自己評価通り。特に意見無し。

#### 2, 学校運営 自己採点評価 3.9

要点説明)

- ・学校運営は学則諸規程に則り、進められている。年度単位、5か年単位の事業計画を作成し、月次、年度単位での計画と実績の差異の分析を行いながら進めている。学校内においては学則・諸規程に定められた会議（運営部会、運営に関する会議、職員会）で重要事項の協議が行われ、意思決定がなされる。

学校関係者評価)

- ・学校自己評価通り。特に意見無し。

#### 3, 教育活動 自己採点評価 3.8

- ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は学生便覧に記載され学生に周知されている。授業評価については学生による授業評価アンケートを定期行い、担当教員にフィードバック

クされ、授業改善に反映されている。今後、職業実践専門課程の認定を受け、業界との連携・情報交換を行い、より中身の濃い教育活動に努めたい。

学校関係者評価)

・学校自己評価通り。

委員からの意見

・実習施設の受け入れ、拡大について

- 1) 市立大学の事例で産学連携実習として今年度、次年度と実施計画が進んでいる。人材育成について丁寧に説明をすることが受け入れをお願いする際の基本であり大切なことになるので専門学校でも参考にしてほしい。
- 2) たくさんの養成校から実習受け入れの依頼がある。例えば夏休みの期間など柔軟性を持つことや、教員が常に実習病院に居ることが受け入れ枠拡充につながるのではないかと。看護現場の実習指導はメリットでもあるがスタッフの疲労や結果として学びが少なくなってしまう可能性もあり、教員の同行をお願いしたい。
- 3) 歯科医院は力を入れている分野が様々違うため、実習先によって見られるものが違う。不足したものがあれば学校からリクエストをあげてもらい、機会を増やしてあげたい。歯科も病院の見学があると口腔外科の手術等も見ることができ、なおよいのではないかと。

#### 4, 学修成果

#### 自己採点評価 4

・2021年度医療事務学科2年制課程の初めての卒業生を輩出した。入学者13名は一人も欠けることなく、2年間の課程を全うし、カリキュラム上の指導予定の検定は全員ほとんど合格した。学校設置目的の県央地区への若者の定着に沿う形で、全員が医療事務の専門職者として、この県央地区に就職した。2022年度看護学科、歯科衛生士学科が国家試験受験を迎え、就職活動に入る。

学校関係者評価)

・学校自己評価通り。

委員からの質問)

合格率を上げることが学校としては大切であるが、もし、合格が難しいと考えられる学生がいた場合はどうするのか？

→回答) 学生全体の底上げをしていくことが教育機関の役割であり、モチベーションを高め、指導に努め皆が受験し、合格が果たせるように努める。(白倉)

## 5, 学生支援 自己採点評価 3.6

・就職支援体制、カウンセリング制度も整備し、経済的な支援体制としての法人独自の奨学金制度、学費の延分納制度を設けている。保護者アンケート等の声では学校と保護者とのコミュニケーションを深めていきたいと考えている。更に情報発信に努めたい。

学校関係者評価)

・学校自己評価通り。

委員からの意見

県央地区、実習先への就職について

- 1) 地元に着してもらうことは大事。地元に残ってもらうため実習を行っている側面もある。実習先に魅力的な技術力を見せてもらい就職につながってほしい。
- 2) 看護は就職率よりも離職率が課題となっている。インターンシップや見学に積極的に行き、それぞれの病院の役割と自分の目指す看護があっていると思うところを受験するようにしてほしい。
- 3) 歯科医院の実習先はスタッフがそろっているため実習を受け入れることができる。就職推進の点ではむしろ実習施設以外にガイダンスの案内をしてはどうか？  
範囲を広く案内を出した方がよい。歯科医師会の例会での案内も可能。

## 6, 教育環境 自己採点評価 3.7

・指定養成施設であり、法令に則り施設設備・備品が備えられている。新しい学校だけに、校舎・設備は新しく、教育機器も最新の機材が備えられているために、外部来訪者からの評価は高い。国際化の流れの中、海外の姉妹校提携、海外研修を進めたいが、コロナ禍の中で実行できていない。

学校関係者評価)

・学校自己評価通り。特に意見無し。

## 7, 学生の受け入れ募集 自己採点評価 3.7

・学生募集活動はパンフレット、募集要項等を作成し、オープンキャンパスで学校の内容を理解してもらえる機会も頻回に実施している。一方、卒業生がまだ出ていない2021年度途中においては、教育実績を示すことができていなかった。学生入学は定員充足できない学科があった。

学校関係者評価)

・学校自己評価通り。

委員からの質問

・社会人入学について何か取り組んでいることはあるか？

→回答) 社会人を対象とした国の支援制度の申請を検討している。専門実践教育訓練給付金制度といい、卒業生の実績が出た後で申請を行う。認定される条件として入学者の8割以上が国家試験を受験し、合格率が全国合格率を上回ること。つまり、教育力がしっかりしていることが大切。そのためにも今年度の指導に力を入れている。その他既にある奨学金制度の告知を行っている。(白倉)

## 8, 財務 自己採点評価 4

・法人として健全な財務状況となるよう中長期で収支計画を立てて運営している。適切に外部監査を受けている。

学校関係者評価)

・学校自己評価通り。特に意見無し。

## 9, 法令等の遵守 自己採点評価 3.8

・法令、設置基準の遵守について、法人本部で窓口となり専門学校担当課と一括して連携している。指定養成施設としての学科は学校責任者が厚生局、県担当課へ定期的に報告、適切に変更承認申請、変更届等の申請手続きを行っている。2021年度の学校関係者評価の実施をし、自己評価の公開は2022年度より行いたい。

学校関係者評価)

・学校自己評価通り。特に意見無し。

## 10,社会貢献・地域貢献 自己採点評価 2.6

・学校行事が全般的に感染症対策の中で実施できずにいた。ボランティア活動、社会貢献活動、地域貢献活動も行えていない。献血活動、ワクチン接種の打ち手教育のために校内備品を外部団体に貸し出す等の協力を留まる。

SDG s を意識した活動をグループ全体で志向している。今後、社会貢献活動、地域貢献活動も進めたい。

学校関係者評価)

・学校自己評価通り。

委員からの意見

- 1) 大学の事例として、三条市からの依頼で学生消防団に加入している学生がいる。三条市として大学をどう活用していくのかは今後も継続課題であり、専門学校とも連携できるとよい。
- 2) 校舎(教室)の貸し出しはできないか? 歯科衛生士の勉強会などで会場として利用していくと学校が身近な存在となる。
- 3) 現場では看護補助者が不足している。アルバイトで学生が実際に現場を経験できることはどうか? 入院患者さんの夕食の時間帯に人手があると助かる。

以上